

ジャステイス新潟

不変の正義と民主化された労働運動を求め

ジェイアール・イーストユニオン新潟地方本部

発行者 神田 広栄

編集者 教 宣 部

平成 27 年 11 月 30 日 第 12 号

〒950-0086

新潟市中央区花園 1 丁目 6 番 30 号大幸ビル 1-B

Tel. 025-244-1777 041-2490

昨冬の検証が基本！！

15 年度「冬期の取組み」で

団体交渉を開催しました。

去る 11 月 24 日支社勤労課会議室で、2015 年度「冬期の取組み」の団体交渉を開催しました。尚、会社側より、戸嶋（運企）・金子（設企）・土橋（サ品）・下室（総人）・板垣（勤労）各副課長、組合側より藤原副委員長、渡辺書記長、金田（運車）・高岡（設備）・宗田（営業）の各交渉員が出席しました。

【申し入れと回答】

1. 最近の冬期傾向の分析とその対策を明らかにすること。また、昨冬の反省に基づいた対策等を明らかにすること。

近年においては、ポイント不転や雪を抱えて停車した事象は減少しているが、雪による輸送障害は依然として発生しており、今冬期においても安定した輸送確保を行いお客さまから信頼してご利用いただくため、野沢駅等のポイント不転対策や羽越本線等の消雪用井戸の老朽取替や改良などを継続的に進めてきたところである。

2. 「(株)えちごトキめき鉄道」との連携及び継続的な取組みが必要不可欠と考えるが、支社の考えを明らかにすること。また、現在、相互に確認されている安全確保に向けた取り組みを明らかにすること。（冬期体制及び異常時体制を含む。）

異常時の対応については、当社エリア内は当社が、えちごトキめき鉄道(株)のエリア内は同社で対応することが基本となる。なお、同社とは協定や覚書に基づき、相互の協力体制を構築して対応をしているところである。

3. お客さまから情報不足などさまざまな観点から強く指摘を頂いている。輸送混乱時における情報提供を具体的に明らかにすること。

異常時の情報提供については、一斉放送やメール配信に加え、乗務員に無線等により早めの情報伝達を行っているところであり、今後はタブレット端末の活用も図る考えである。

4. 各消雪設備については、冬期体制前に点検、整備を終了すること。

消雪設備の点検・整備については、冬期体制前まで

に終了する計画である。

5. 降雪時、E4 系（P 編成）において地絡事故が発生した。その原因と対策を明らかにすること。

地絡の起こる原因については特定はされていないが、今年度の地絡対策としてパンタグラフ下部板の高さ変更とパンタグラフ空調仕切版変更を行ってきたところである。

6. 新津運輸区構内の指定通路に破損箇所がある。冬期前に補修、改善すること。

新津運輸区構内の指定通路の修繕については、優先順位を勘案しながら検討を行うこととなる。

7. 架線関係「トンネル内ツララ除去」「ビーム除雪」等の除雪間合の確保について明らかにすること。

必要な間合いを確保して実施することとなる。

8. 分岐器融雪装置の自動化工事で納入される制御盤は、故障情報を細分化し詳しい情報を送れる仕様になっている。通信回線が対応していないため有効活用されない状態である。今後の活用についての考え方を明らかにすること。

融雪設備の故障については、現地を確認して原因を特定するため、故障情報を細分化して送信する必要はないと考える。

9. 委託駅における自動化されたポイント融雪装置の故障時の対応について、明らかにすること。

電力指令または輸送指令が故障表示を確認して、関係個所に連絡することとなる。

10. 羽前沼沢の横取り装置の融雪設備を改修すること。

横取り装置の融雪装置については、支社内の設備投資の優先順位を勘案しながら検討することとなる。

11. 除雪体制の取組みで、センター試験対応・高校入試対応について降積雪情報に基づいた柔軟な体制にすること。

除雪計画については、引き続き外部気象情報を基に早めに決定したいと考えている。

12. ポイントのベアリング床板化を今回の冬期対策とした理由を明らかにすること。

温水ジェット設備が整備されているがベアリング床板化となっていないポイントについては、稼働後に分岐器機能が低下する可能性があることから、ベアリング床板化により機能低下を防ぐことが出来ると考えている。

13.新津構内排水設備について次年度以降の計画について明らかにすること。

新津構内の排す設備については、平成26年度から継続的に整備してきていることであり、今後も継続して検討し整備することで考えている。

14.既存消雪設備の更新は、計画的に各現場において予算を明確にして更新するよう指導すること。

消雪設備の老朽取替えについては、支社内の設備投資の優先順位を勘案しながら継続的に整備しているところである。

15.今冬期における雪抱え込み事象に対する取組みについて明らかにすること。

除雪については、が萎靡気象情報の降雪情報や現場からの情報などに基づいて計画を立て実施しているところである。引き続き関係個所と相互に連絡を取って行く。

16.雪崩防止柵の設置について、米坂線以外の設備計画について明らかにすること。

雪崩防止柵の設置については、支社内の設備投資の優先順位を勘案しながら検討することとなる。

17.社員運用計画の輸送対応で湯沢・小国は2月末とあるが設備系統との対応期間を同一にすること。

冬期要員の運用期間については、提案の通りとなるが、降雪状況等により変更する場合もあり得る。

以上

昨年度の「冬期問題の検証」を実施した後の今冬への「取組み」である。毎冬、繰り返される冬期ならでの事象に会社側は果たして真摯に向き合っているのだろうか。限られた人員・設備・予算などを総合的に勘案して出された方針であり、それへの素朴な、且つ真摯な問いかけへの回答である。しかし、心底納得のいくものではない。

私たち労働組合側も、具体的なデータのもと建設的な回答を得ようと努力はしているが、さまざまな壁があることも事実である。そこを労使ともに「今冬こそは最善な対策を講じよう」という気概があることが前提で、加えて共に歩み寄るといふ姿勢も大切なことではないか。

目指す^{いただき}「頂」は労使ともに同じであるはずだ。「ご利用しただけのお客さまに安全と安心していただける快適な輸送」のはずだ。ここ近年を含めた最近まで、最も撲滅しなければならないタイプの事故が多発傾向にあることを考えれば、極めて危機的な現状を再認識し、それらを打破しなければならないという取組みでなければならない。それらが配慮された上での取組みでなければならないと考えることが妥当だろう。

例え、幸いにも安定した輸送を確保できたとしても、それが継続できるものとは考えられない。私たちは絶えず変

化する経営環境を考慮した上で方針を策定することが必要ではあるが、それだけに固執しては「安全・安定した輸送」「快適なサービスを提供する企業」にはなれないと考える。最後の砦の一つには、一人ひとりの社員のモチベーションであることも理解すべきだ。

特に世代交代の局面を如何にスムーズに行えるかが大きなカギを握ることになるはずである。

労使がともに胸襟した関係で、現実的な問題を先送りせず、本音で建設的な議論ができる体制を強く望む。

◆◆お知らせ◆◆

1. 羽越線脱線現場献花行動について

12月23日(水)

地本 神田・渡辺

部会 高橋・船山(設備)

高橋(運車) 鈴木(営業)

*当日は、本部執行委員会と合同行動です。

2. 組合事務所の年末年始について

12月29日(火)～1月4日(月)

事務所は年末年始でお休みとします。

3. 本部HP開設について

大変長らくお待たせいたしました。正式運用しました。端末をお持ちの皆さん、検索し、活用して下さい。



集まれ！！

「2016 新春の集い」

新春の恒例となっています「新春の集い」を下記の日程で開催いたします。新年への熱い思い、抱負を大いに語り合ひましょう。組合員は勿論、退職者など多くの参加者をお願いいたします。

とき 2016年1月9日(土)13:00～

ところ 新潟市中央区万代

「万代シルバーホテル」5F「万代の間」

かいひ お一人3,000円

**皆さまの奮っての参加、
お願いいたします～す！**